

【概要版】「上牧町人口ビジョン」及び「上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

1. 「上牧町人口ビジョン」及び「上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の背景

少子高齢化社会の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたり活力ある社会を維持していくことを目的に、国において、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）が制定され、人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、今後 5 か年の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が平成 26 年 12 月に策定されました。

上牧町においても、若者が本町で結婚し、子どもを産み育て、本町での永住を促すために必要な取り組みについて、「上牧町人口減少問題対策プロジェクトチーム」を設置し、**本町の地域特性や実情に応じた効果的・効率的な人口減少問題対策を検討**してきました。

一方、住民が安心して豊かに暮らせる環境をつくっていくためには、人口減少が及ぼす様々な問題に対して、**町民がより身近なものとして認識し、町民と行政が連携して対策を講じることが必要**です。

そこで、国・県の「長期ビジョン」、「総合戦略」や「上牧町人口減少問題対策検討プロジェクトチーム報告書」等を勘案するとともに、平成 28 年度に策定予定の第 5 次上牧町総合計画と整合を図り、**上牧町の今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す「上牧町人口ビジョン」及び、町民と行政とが連携して本町の人口減少への対策に取り組むことを目指した「上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定**します。

2. 上牧町人口ビジョン

◆上牧町人口ビジョンの位置づけ

【本編 5 頁】

「上牧町人口ビジョン」は、国が策定する「長期ビジョン」と「総合戦略」の趣旨を勘案したうえで、今後予想される本町の人口の変化による将来への影響や課題を分析・考察し、**今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すもの**です。

◆上牧町人口ビジョンの対象期間

【本編 5 頁】

国の長期ビジョンと同様に、**平成 72（2060）年までを対象期間**とします。

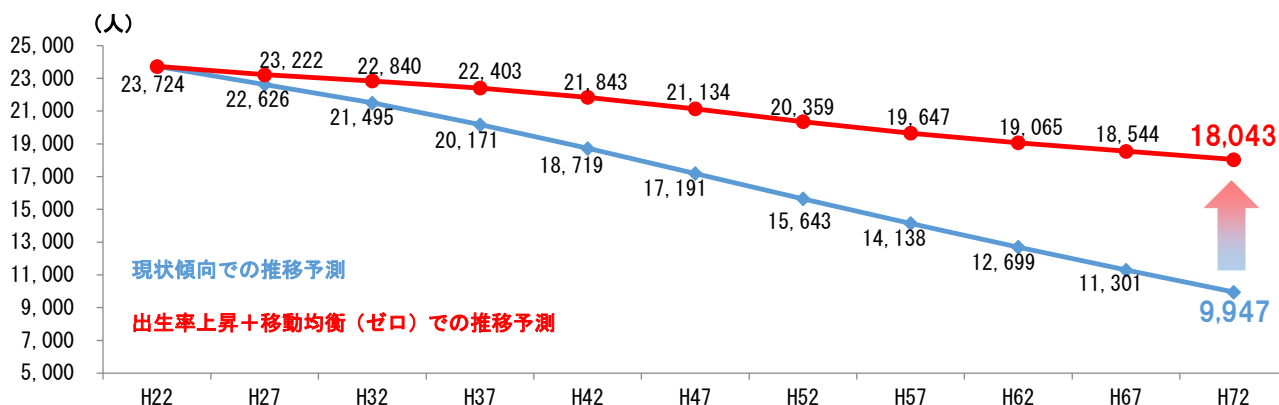
◆将来展望

【本編 44 頁】

「子育て支援等により合計特殊出生率を平成 42 年に 1.8、平成 52 年に 2.10 まで上昇させるとともに、移住転入支援等により、人口移動の均衡を図り、**計画期間中 22,500 人を維持し、長期的（平成 72 年）には 18,000 人を確保**する。」ことを将来展望とします。

◎上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間中(平成 27～32 年)は **22,500 人を維持する**

◎平成 72(2060)年までの**将来展望人口を 18,000 人とする**



3. 上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略

◆上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

【本編 51 頁】

「上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「上牧町人口ビジョン」で示した上牧町の将来展望人口や、町民との協働によるまちづくりを推進することを目的に制定した「上牧町まちづくり基本条例」の理念を踏まえ、**町民と行政とが連携して本町の人口減少への対策に関する施策の方向性を提示するもの**として作成します。

◆上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象期間

【本編 51 頁】

平成 27 (2015) 年度～平成 31 (2019) 年度までの **5 年間**とします。

◆上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系

【本編 51 頁】

上牧町の「高齢化の急速な進展」、「生産年齢人口の減少」、「更なる少子化の進展」、「進学・就職による若者の転出増加」、「人口構造変化に伴う地域力の低下」といった課題や、町民の意識・希望に対応し、計画期間目標（平成 32 年：22,500 人）、将来展望人口（平成 72 年：18,000 人）を達成するために、次に掲げる **4 つの基本目標、9 つの基本的方向にもとづき、戦略を展開**します。

【「上牧町人口ビジョン」及び「上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策体系イメージ】



基本目標 1 教育・子育て環境を整え、プライベートと仕事の両立を支援する

【本編 62 頁】

人口減少、出生率低下を抑制するためには、多様化するライフスタイル（暮らし方、働き方等）に合わせた支援を実施するとともに、地域と行政の協働による教育・子育て体制を整え、町民の負担を減らし、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備することが重要な取り組みです。

そのため、基本的方向である「(1) 地域による教育・子育て環境の充実」及び「(2) ライフスタイルの多様化に対応した結婚・出産・子育て支援」、「(3) ふるさと教育の充実」にもとづき9つの施策を展開し、**町民がプライベートと仕事の両立を図れるよう、出会いから結婚・出産・子育てまでの切れ目のない一貫した支援を行うことで、自然動態における人口減少に歯止めをかけます。**

基本的方向 1 地域による教育・子育て環境の充実

地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整えるとともに、いつでも相談や集える場をつくることで、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備します。

- 【施策】 ◎子どもの学力向上支援 ○子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト
◎地域ぐるみの子育て支援 ○就学前教育の充実

基本的方向 2 ライフスタイルの多様化に対応した結婚・出産・子育て支援

近年、多様な働き方が求められており、その影響でライフスタイルも多様化していることから、ライフスタイルに対応した子育て支援に取り組むとともに、結婚希望者が結婚できる体制を整え、上牧町で結婚・出産・子育てができる環境を整備します。

- 【施策】 ◎結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援 ◎不妊・不育症治療支援
◎安心して共働きできる環境の整備 ○特別支援教育の充実

基本的方向 3 ふるさと教育の充実

就学等で町外へ出ても上牧町に戻って子どもを育てるため、上牧町の良さを体験・学習する機会を提供し、地域愛を育みます。

- 【施策】 ○ふるさと教育の充実

基本目標 2 若者世帯を中心とした転入世帯が住みやすい住環境を整備する

【本編 67 頁】

若年層が進学・就職・結婚を機に町外へ転出していることが窺える状況において、若者世代の回帰を図るためには、上牧町の住宅都市としての良好な住環境を維持するとともに、受け皿となる住宅を確保し、交通利便性を向上させ、転入世帯が住みやすい環境を整備することが重要な取り組みです。

そのため、基本的方向である「(1) 既存ストックを活用した住環境の整備」及び「(2) 若年層の回帰の促進」にもとづき6つの施策を展開することにより、**町外へ転出した若者世代が上牧町に戻ってこられる環境を用意するとともに、魅力ある住宅を供給し、町出身の若年層や新婚世帯の定住促進を図ります。**

基本的方向 1 既存ストックを活用した住環境の整備

町内の既存住宅を活用した魅力ある住宅（多様な住まい、住まい方）を供給するとともに、地域の魅力発信や生活利便性向上に取り組み、若者世帯を中心とした転入世帯が住みやすい住環境を整備します。

- 【施策】 ◎空き家活用プロジェクト ◎UR住宅の活用による若者世帯の定住促進
◎公共交通の利便性向上 ○コンパクトシティ PR 活動

基本的方向 2 若年層の回帰の促進

進学や就職のため町外に転出する傾向にあるが、就職・結婚を機に上牧町に戻ってこられる環境を整備します。

- 【施策】 ○同居・近居支援 ○帰っておいでプロジェクト

若者世帯の転出・減少や出生率が低下する中、活力あるまちづくりを創出していくためには、町単体での取り組みはもちろんですが、近隣自治体との連携や町民主体のまちづくりなど、上牧町の活性化に向けた新たな施策展開が不可欠となります。

そのため、基本的方向である「(1) 地域資源を活用した広域連携による魅力創出」及び「(2) 広域連携による地域力の向上」、「(3) 地域活動・NPO活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出」にもとづき、8つの施策を展開し、**広域連携による新たな地域の魅力を創出するとともに、公共の担い手として町民が活躍できる場と機会を創出し、地域力の向上を図ります。**

基本的方向1 地域資源を活用した広域連携による魅力創出

町単体ではなく、周辺自治体の地域資源を活用した新たな魅力を創出・発信し、交流人口増加に取り組みます。

【施策】○北葛4町における公共施設の相互利用 ○地域資源をつないだネットワークの形成

基本的方向2 広域連携による地域力の向上

生活利便性が高く、コンパクトな住宅地として発展した上牧町の特徴を活かしつつ、近隣自治体との連携によって上牧町の地域力を向上させます。

【施策】○空き家バンク共同利用

基本的方向3 地域活動・NPO活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

町民の活躍できる場と機会を創出するとともに、新たな公共の担い手として地域活動団体やNPO、ボランティアの育成・立ち上げを支援します。

【施策】○人材バンクの拡充 ○地域活動・NPO活動への参加機会の創出
○防災活動支援・促進 ◎公募型補助金の活用促進

上牧町は昭和40年代からベッドタウンとして発展してきましたが、現在は入居者の高齢化が進行し、今後は空き家として取り残されることが懸念されることから、空き家の有効活用は急務といえます。また、町内には再就職を望む元気な高齢者や子育てを終えて時間の余裕のある親世代、シングルマザーなど、労働条件はあるものの、働く意欲のある町民もいることから、様々なライフスタイルに対応した労働環境を創出することは住民の生活の安定や生きがいづくりにつながるといえます。

そのため、基本的方向である「(1) 地域資源を活用した雇用支援」にもとづき2つの施策を展開し、**町内の空き家を活用した事業者誘致に取り組むとともに、町民ニーズに適した就活支援を行うことで、上牧町で働き続けられる環境の整備に取り組みます。**

基本的方向1 地域資源を活用した雇用支援

地域資源（空き家、企業）を活用し、新規雇用の促進、継続的な労働環境を提供します。

【施策】○空き家を活用した雇用創出 ○就職情報発信及び就職支援

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進においては、「上牧町まちづくり基本条例」に規定された町民との「参画協働」及びそれらの前提となる「情報の共有」の基本原則を前提に、**地域の担い手である町民**をはじめ、**地域団体組織やNPO組織、民間事業者**等、多様な主体が**行政との協働**で取り組み、住民が希望と安心をもって暮らしていけるまちづくりを推進します。また、行政においては、国の方針を踏まえるとともに、県との縦断的な連携も積極的に取り組み、教育、福祉、まちづくり、保健福祉等、様々な分野において全庁的に相互連携を図りながら計画を推進します。

発行：上牧町 編集：総務部 政策調整課

〒639-0293 奈良県北葛城郡上牧町大字上牧3350番地

電話：0745-76-1001（内線 238） FAX：0745-76-1002